

歩み晴れ

自然な歩幅で、まず一步。

おろす足で地面をつかむ。

体を送り出すのは、蹴り足の親指。

向かう先を思いながら、前へ、前へ。

テンポが上がり、歩幅が広がる。

歩むほどに、心が晴れていく。

あの高く澄み渡る秋空のように。